

ハートフル塩山広報委員会

# は～とふる応援団



## 訪問看護特集

皆さんは訪問看護って知っていますか？

誰が来てくれるの？

どんな人が受けられるの？

何をしてくれるの？

どうすれば受けられるの？

などなど、訪問看護に関する疑問点、在宅サービスに関する相談等の参考にと、2～3面に特集を組みました。

訪問看護といっても病棟の看護と根本は同じで、基本は「ご利用者の身体的・精神的・社会的・人間関係などトータルのアセスメントして必要な看護を提供する」ことです。

病院とは違い、ゆっくり接することが出来て、ご利用者やご家族の言葉に心から耳を傾け、良い看護を共に考えて行っていく。そんな訪問看護師さんの様子をご覧ください。

## 目次:

敬老の日	1
訪問看護特集	2
スタッフの声	2
訪問看護特集	3
看取りのケア	3
ホットな職員紹介	4
ホットなボランティアさん	4

## 祝 敬老の日



デイサービス「萩」を利用の最高齢者は、今年 白寿(99歳)の「樋口さかゑ」さん。(明治42年10月23日生まれ)。(写真左) 愛嬌たっぷりの笑顔で、週3回元気に来所されています。

「藤」の最高齢者は、大の読書家で、ピンとした背筋が物語る、かくしゃくとした98歳の「広瀬梅子」さん。(明治43年3月30日生まれ)。(写真下)

2つの部屋では、この日のためにあらかじめ用意した手作りの品をプレゼントしました。

「藤」は、職員が作ったご利用者の仲良しさん同士が

作った“写真カード”。「2人きりで撮るなんてことなかったよね～」と肩を寄せているのは、実の姉妹で利用されている、桐原ふみのさんと桐原みどりさん。「こんな写真は初めてだよ!」「枕元に置いて寝るんだ!」等々、にぎやかに写真を見せ合いながらうれしそうに受け取っていました。

「萩」はご利用者と職員が一緒に、色とりどりの和紙で“ぶどう”の色紙を作りました。そして裏には「実の一粒ひとつぶが大きな房となり…更に大きな房となるよう実をつけていきましょうね」の職員からの言葉を添えました。







